

# 治療者・社会・病に関する意識調査

駒田安紀(京都大学人間・環境学研究科博士後期) + カール・ベッカー(こころの未来研究センター教授)

## ■アトピー性皮膚炎と不妊症(不妊治療)

急性疾患に代わって慢性疾患が増加した現代社会において、患者とその周囲の状況も変化している。従来の病人役割(パーソンズ, 1951/1974)では、患者は治療者に従い、それまでの社会的役割を剥奪され、病の治療に専念すべきものとされてきた。しかし、慢性疾患の場合、病を抱えながらも社会生活を営むことができる患者も多く、従来の病人役割があてはまらなくなっている。急性疾患に比べ慢性疾患の患者は、病状に対して自らの考えに基づきセルフケアを行うことが多いため、治療者との関係性が薄くなる一方で、社会とのつながりは濃くなる。同時に、社会の言説の影響を受けることも多く、社会問題と捉えられる症状や問題もある。

本研究ではこのような「多くの場合、病を持ちながらも社会生活を送ることができる」一方で「社会的な言説が当事者に影響をもたらす」症状・問題として、アトピー性皮膚炎と不妊症(不妊治療)をとりあげる。アトピー性皮膚炎は、慢性的な湿疹と痒みを特徴とする疾患であり、現在の患者数は35万人ほどである。有症率は報告により差が見られるものの、学童期で約10%、成人期で約5%であり、成人患者の患者数増加や重症化が問題視されている(佐伯, 2008)。治療法ははまだ確立されおらず、現代医学と同時に非常に多様な民間療法が提唱され、患者個人の選択に委ねられている状態である。多くの患者が薬などでコントロールしながら社会生活を継続しているが、症状の可視性ゆえにスティグマも生じやすい。

## ■社会的な言説やイデオロギーの影響

アトピー性皮膚炎や不妊に関して「現代病である」という言説や、一方でその責任は本人にあるとする病者責任

論的なイデオロギーが見られる。患者が自らの病気観・病因論を構築する上で、社会的な言説やイデオロギーから、どのような影響を受けたのか、新聞記事の分析から言説を明らかにした上で、インタビュー調査から患者の意識を考察する。

いずれの疾患においても、「治療する」ことが確実に保証されているわけではない。目下、さまざまな医学的取り組みが行われているところである。そういった病において、患者の意識を描き出すことは今後の医療者—患者関係を再考する上でも示唆的であると考えられる。

## ■アトピー性皮膚炎の原因に関する新聞記事分析とインタビュー

「現代病」や、それに伴う諸問題に関する言説を明らかにするために、まずアトピー性皮膚炎の原因に関する新聞記事分析を実施した。その結果、アトピー性皮膚炎の原因に関する記事は1980年代から紙面に登場し、当時から食生活や住環境が注目されていたこと、近年になって化学物質を原因とする説や皮膚そのものの構造に対する関心が高まっていることが明らかとなった。

次に、アトピー性皮膚炎患者12名を対象にインタビューを行い、病因解釈を明らかにした。アトピーの原因について、彼らの語りの中から該当箇所を抜粋し、そ

こで語られている内容をキーワードに要約した。回答を〈病因の内在化〉〈病因の外在化〉〈病因の内在化かつ外在化〉に分類し、検討した。

ここでは結果のみを簡単にまとめる。

〈病因の内在化〉「食生活」、「不摂生」という回答が得られた。自らの過去の生活に対する戒めや反省、後悔である。と同時に、メディア上で最も多く見られる原因の言説であり、それらの影響を受けている可能性もある。

〈病因の外在化〉「チェルノブイリ原発事故」、「バクテリア」、「薬の副作用」という回答が得られた。いずれも外的な要因で悪化したと語った。「バクテリア」と回答した患者は、アトピー・アソシエーション・ジャパンと連携しているアメリカの医師による診断・治療を受けた経験があり、その医師の説明を取り入れ自らの病因として語っていた。

〈病因の内在化かつ外在化〉「血や骨格などのつくり」、「カルマ」、「血が悪い」、「腸内環境」という回答が得られた。これらは自分自身に原因を内在化していると同時に、遺伝など家族の影響や、家系にまつわる思想の影響をも示している。

今回の調査では、原因を内在化する患者(Richards, 2003)や医師の説明を用いる患者(Peters, 1988)、遺伝であると考える患者(Linn, 1982)は先行研究と同様に見られた。また特に、食生活が原因であるという語りは、メディア上の言説の影響を受けているのではないかと考えられる。この点については今後さらに検討を行う。

表1:対象者の属性および回答一覧

ID	年齢	性別	職業	発症年齢	アトピーの原因	内在化/外在化
A	32	男性	会社員	1-2歳	チェルノブイリ原発事故	外在化
B	39	女性	看護師	1ヵ月	血や骨格などのつくり	内在化かつ外在化
C	40	女性	大学院生	8歳	カルマ	内在化かつ外在化
D	41	女性	主婦	17歳	食生活	内在化
E	34	女性	会社員	15歳	食生活	内在化
F	23	女性	自営業	0歳	食生活	内在化
G	26	女性	会社員	18歳	不摂生	内在化
H	31	男性	会社員	6歳	血が悪い	内在化かつ外在化
I	34	男性	自営業	6ヵ月	バクテリア	外在化
J	35	女性	主婦	1歳	腸内環境	内在化かつ外在化
K	47	女性	主婦	10歳	薬の副作用	外在化
L	42	女性	セラピスト	2-3歳	食生活	内在化